

【1年：キャリアの学び】多様なキャリアから学ぶ！
社会の第一線で活躍する先輩 8 名と創る「南高 Cross-Talk」

7月8日(水)の第6・7限目、1年生を対象に「南高 Cross-Talk：先輩から学ぼう！」を開催しました。

本企画は、社会の第一線で活躍されている南高の先輩方をお招きし、実際の仕事や働き方、高校時代の過ごし方等について、「車座トーク」スタイルで、直接対話を行うキャリア学習プログラムです。

南高生たちが将来の希望進路のイメージを具現化し、学習意欲を高めるとともに、間近に迫った「文理選択」に活かすことを目的として、実施しました。

■ 南高生が主体となってつくる対話の時間

当日の運営は、司会進行やアイスブレイク、先輩方の誘導、お別れの挨拶に至るまで、すべて南高生たちが主体となって進行しました。

各教室には4名の先輩方が順に訪れ、1回20分×4セットの対話セッションを実施。事前アンケートやその場の質問をもとに、「なぜその職業を選んだのか」「高校時代にやっておいて良かったこと」「進路変更やキャリアの転機」など、ここでしか聞けないリアルな体験談に耳を傾けました。各セッションの最後には、学んだことを振り返り、互いに気づきを共有し合いました。

■ ご協力いただいた8名の先輩方

弁護士、企業の研究者、元観光業、公務員、教職員、元気象予報士、大学教職員、ものづくりの最先端で活躍なさっている方で、多様な分野で活躍されています。



■ 参加した南高生の感想・学び(一部抜粋)

「進路変更や転職を経験された先輩方の話を聞き、今決めた進路がすべてではなく、自分の軸を持っていればいくらかでも挑戦できるのだと勇気をもらいました。」

「文理選択で悩んでいましたが、自分のやりたいことや興味から素直に選んで良いんだと思いました。」

「『法律家も研究者も最後は人の心に寄り添うこと』という言葉が心に残りました。日々の勉強のモチベーションが一気に上がりました。」

■ 結び

今回の「南高 Cross-Talk」は、実際の職場の様子や社会で活躍する先輩方の生の声に触れることで、南高生たちにとって将来をじっくりと考える貴重な機会となりました。

進路や文理選択は、これからの南高生活、そしてその先の人生につながる大切な一歩です。この経験をきっかけに、南高生一人ひとりが「自分は何に興味を持ち、どのような学びを深めたいのか」を深く問いかけ、納得のいく進路選択につなげてくれることを期待しています。

お忙しい中、後輩のために温かいお話と情熱を届けてくださった先輩方に、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました！